



- 甲府やまなみクラブ会長主題：Think Globally Act Locally 藤原 一正
- あずさ部長主題：よい結果をもたらす心の安定と考える力を 森本 俊子（長野）
- 東日本区理事主題：未来のために今、学びと気づきを、未来のために、
自信を育み、真の喜びに出会う！ 山田 公平（宇都宮）
- アジア太平洋地域会長主題：変革のための光となろう 利根川恵子（川越）
- 国際会長主題：輝かそう、あなたの光を Ulrik Lauridsen（デンマーク）

甲府やまなみ
ワイズメンズクラブ
2024年 3月
No.18

●今月の強調目標
CS・GreenP
ワイズメネット

●今月のことば
「三方よし」

遠藤 恭範 君 選

今月の例会案内（第18回）

- 日時：2024年3月6日（水）18:30～20:30
- 会場：シャトレゼホテル談露館
- 司会：米山 俊彦 君
- ・開会点鐘 藤原 一正 会長
- ・ゲスト・ビジター紹介 司会者
- ・ワイズソング 一同
- ・会長挨拶 藤原 一正 会長
- ・今月のことば 遠藤 恭範 君
- ・ワイズディナー
- ・ゲスト卓話 「山梨の伝統芸能と祭り」
アマチュアカメラマン 志村 功 様
- ・諸報告、今後の予定
プロボノリスト・東日本区大会他
- ・ハッピーバースデー&アニバーサリー
- ・YMCAの歌 一同
- ・閉会点鐘 藤原 一正 会長

Photo
of
monthly



2月10日、あずさ部第2回桑都評議会に参加した、やまなみクラブメンバー(高尾の森わくわくビレッジ)

2月のデータ

会員数:12名 例会出席:9名
例会出席率:75% ゲスト:橋本晶子さん
ニコニコ:6,643円

ハッピーバースデー

メン 遠藤 恭範 (3/3)・三井雅之(3/26)

アニバーサリー

米山 俊彦・千恵 (3/25)
仙洞田安宏・克子 (3/27)

今月のことば

三方よし

遠藤 恭範 君

仕事でも、プライベートでも他者と協働するさいに心掛けています。広く知れ渡っている言葉ですが調べてみると、天秤棒1本での行商から江戸、大坂、京都をはじめ全国各地に進出し発展していった、近江商人の経営哲学のひとつのことです。自分と相手だけでなく、周囲にも良くなるように考えるという教えですが、最近では三方では足りなくて、社員と未来を加えて「五方よし」株主、社会、国を加えて「八方よし」という考えに発展しているそうです。しかし、難しいことを考えるのが苦手な私は「三方よし」を続けて行こうと思います。

●●●● 2月例会報告 ●●●●

仙洞田安宏

二日前の雪がまだ残る2月7日(水)、やまなみクラブ2月例会が山梨YMCAで開催されました。

今月は藤原一正会長が「今月のことば」と卓話を担当ということで、さしづめ「藤原ナイト」といった感でした。

2月はTOF(Time of Fast)ですので、おにぎり2個で「ワイズディナー」を済ませ、藤原会長の卓話「中小企業診断士の仕事について」に移りました。

中小企業診断士は「十士」の中の一つの職種で国家資格であること、県内では約40名の診断士がいるそうですが、独立して事務所を構えているのは半数以下とのことでした。

業務の内容としては、飲食店、旅館業などの支援として、創業計画、経営改善計画の策定支援、各種補助金申請の支援などがあり、いくつかの実例をあげて紹介されました。守秘義務があるということで、詳細には触れられませんでしたでしたが、その中にはTVのグルメ番組で紹介された店もあり、中小企業診断士の仕事が身近に感じられました。

その後、諸報告と協議の時間をとりました。

①遠藤恭範会計から前期の会計報告

②次期クラブ会長に米山俊彦書記が、また次期あずさ部のユース事業主査に藤原さんが就任(正式には

2月例会ニコニコメッセージより

▼今年は「きのえたつ」、何かを始めるのに良い年。中小企業診断士の仕事内容がよくわかりました。補助金の活用、いいですね! 能登の皆様がお健やかでありますように。(ゲスト・橋本晶子)

▼今月の言葉、Imagine all the people living life in peace. 誰でも平和に生きる人生を送りたいですね。現在世界では戦争が多く苦しんでいる人も多い。平和になることを祈ります。(松本公夫)

▼休みがちですみません。(渡邊 隆)

▼次期会長職に推薦、ありがとうございます。力不足ですが、何とかがんばります。皆様のご協力をお願いします。(米山俊彦)

▼今日は発表させていただきます。よろしくお願ひします。(藤原一正)

▼藤原会長の仕事の顔を見ることが出来て良かったです。(遠藤恭範)

▼2月例会に出席できて感謝、充分聞き取れないこともあります。出席第一にがんばります。(大澤祥子)

▼今月の「やまなみ通信」にImagineの一節を見つけました。大好きな歌です。YMCAはこれを実現するために、地域を人々を元気づけることだと思ひます。”Power to the People!”(福田奈里子)



あずさ部評議会で承認を受ける)。

③プロボノリスト作成について、3月例会までに各自記入持参

④タイコーヒーのファンドについて、等がありました。

またニコニコ献金は、能登半島地震支援募金に充当することにしました。

ハッピーバースデーでは久しぶりに出席した遠藤成人さんが前日誕生日だったそうで41歳の感想を伺いました。

出席者:藤原・松本・米山・遠藤(恭)・渡邊・大澤・遠藤(成)・福田・仙洞田、ゲスト:橋本晶子さん。

甲府クラブの2月例会に出席

仙洞田安宏

2月13日(火)、午後6時から山梨YMCAの史料展示室運営委員会があったので、終了後同日開催の甲府クラブの2月例会に出席しました。当日のプログラムが、やまなみクラブの担当主事でもある福田奈里子さんの卓話というので、楽しみに出席しました。卓話のテーマは、山梨YMCAで取り組んでいる「銀河鉄道の森プロジェクトについて」でした。

またこの日は富士五湖クラブの尾崎さん夫妻の弾き語りフォークデュオもあり、楽しいひと時を過ごすことができました。甲府クラブのメンバーとも久しぶりに会うこともできました。



【卓話を担当する福田奈里子さん】

第2回あずさ部桑都評議会に参加して

米山 俊彦

梅の花がほころび始め、日差しの中では暖かさを感じられた2月10日、東京八王子市にある「高尾の森わくわくビレッジ」で開催された第2回あずさ部“桑都評議会”に、藤原会長、仙洞田さん、大澤さんとともに参加をしました。

八王子は、西行法師が、この地を「浅川を渡れば富士の雪白く 桑の都に青嵐吹く」と詠んだと伝えられていることや絹織物産業(多摩織)・養蚕業が盛んであったことから北原白秋が作詞した八王子市歌にも「桑の都」の歌詞があり「桑都」と呼ばれてきたそうです。歓迎の挨拶では、ホストクラブである東京八王子クラブの並木会長から“桑都評議会”と命名したいきさつの説明があり、八王子の地場産品であるネクタイやシャツを着用されて、八王子のPRを兼ねたご挨拶がありました。

八王子で織物産業や養蚕業が盛んに行われていて、「桑都」の別名があるとは知りませんでした。これも今年目標である「学び」の一つになりました。

議案の審議に移り、第一号議案「2024-2025年度あずさ部役員承認の件」の提案が、次期部長のピーターさん(甲府クラブ)からあり、全会一致で承認されました。この役員には、我がやまなみクラブから藤原会長がユース事業主査として、参加されています。

次に、第二号議案として「2023-2024年度 あずさ部CS・Yサ事業助成の件」が提案され、松本クラブの「アジア賞」、富士五湖クラブの「障がい者フライングディスク大会」、そして甲府21クラブの「ベビーカーコンサートin甲府」に、それぞれ助成が承認されました。

最後に、第三号議案として「あずさ部次々期部長辞退の件」が提案されました。

この案件は、前回の評議会から継続審議となっていたもので、あずさ部部長選出の順番である東京西クラブが、会員の高齢化により部長選出が困難となっ

たため、次々期部長の選出を東京武蔵野クラブに依頼し、了解が得られたことから評議会の承認を求めるものでした。次々期部長の具体的な氏名は、5月の評議会で決定することになりました。

また、部長の選出は、クラブの輪番制になっていますが、今後、会員の高齢化や減少のために今の制度では部長の選出ができなくなるクラブが出てくることから、部長の選出方法について見直しを検討してもらいたいという意見がありました。



【やまなみの活動報告をする藤原会長】

その後、部長、事業主査、各クラブ会長の活動報告があり、評議会の閉会となりました。

評議会後のグループ討議では、7つのグループに分かれて、「あずさ部部長選出について」話し合いを行いました。

私の参加した第2グループは、部長の選出方法としては、輪番制を基本とするべきという意見が大勢でした。各グループの話し合いの中でも、同様の意見が出ていました。また、会議の回数の削減や部の役員分担を見直すなど、部長職の負担軽減を図ることも必要ではないかという意見もありました。加えて、会員の減少に伴うクラブの合併という選択に対しては、クラブはそれぞれ個性があり、その個性を大切にす意味からも合併には慎重であるべきという意見もありました。会員の高齢化や減少などによるクラブ活動への影響が懸念されることから、クラブ活動の継続を第一に考えて、運営方法や組織の見直しを検討することが必要であると感じました。

その後は、次期部長のピーターさんによる乾杯の発声で懇親会に入り、恒例のクラブのアピールで盛り上がる中、和気あいあいのうちに懇親会の終了となりました。全体の参加者は50人でした。



温故知新～史料室の書棚から

仙洞田安宏

山梨YMCAの史料室には、ワイズメンズクラブに関する史料も沢山あります。これは主に、故大澤英二さんが保管していたものです。大澤さんが甲府クラブの担当主事になったのが1960年ですが、毎年発行されているロースター&ハンドブックは1962年以降のものがほぼ保存されています。

下の写真は1993-94年度までのものですが、年を経る毎に厚くなっている(会員が増えている)のが判ります。



【1962年版の会員名簿】

行事予定

- ✓3月9日(土)・10日(日) 次期クラブ会長・部役員研修会(御殿場市・東山荘)
- ✓3月23日(土) 東京サンライズ35周年記念例会
- ✓3月27日(水) クラブ役員会(山梨YMCA)
- ✓4月20日(土) Week4Waste-4月野外例会
- ✓5月 8日(水) 5月例会(山梨YMCA)
- ✓5月11日(土) あずさ部第3回評議会
- ✓6月 1日(土) 第27回東日本区大会(帯広)
- ✓6月 5日(水) 6月例会(談露館)
- ✓6月 9日(日) 第26回山梨YMCAチャリティーラン

卓話者・志村 功氏 プロフィール

1954年生まれ、仙洞田会員の高校時代の同級生。趣味のカメラで富士山、山梨の伝統芸能・祭りなどを撮影し、ブログ「甲州斎写楽写真館」で発信。現在笛吹市境川町文化協会短歌部部長も務める。



山梨YMCA 総主事
中田 純子

「～声をとどける。声をうけとめる。～」

今年、学校で把握された「いじめ」の件数は68万件、不登校児童に関しては29万人と報じられ過去最高となっていることはご存じだと思います。このことは私たち大人が重く受け止めなければならないと強く思います。

全国YMCAでは、毎年2月の最終水曜日に「いじめ」について考え行動する「ピンクシャツデー」運動を行っています。山梨でも先月26日から29日に「ピンクシャツデーウィーク」として、子どもも大人も共に、互いに認め合い、多様性を大切にしよう 人と人のつながりを作るための様々な活動を行い地域で「育てあい、育ちあう」まちづくりを目指し、自分のことも他者のことも大切にできる関係性に支えられた地域社会ーポジティブネットーを山梨に広めるために、放課後等デイサービス、放課後児童クラブの子どもたちが全身全霊で「いじめをなくそう」パレードを行いました。その姿は、多くの人に声を届けたいと心から感じたからです。この子どもたちの平和を訴える声を届けるためには声を受け止める人がいなければなりません。この平和の声の受け止めを甲府市長、甲府市教育長のお二人がしてくださいました。大人が受け止めてくれることで子どもたちはもっと多くの人に伝えたい。知ってほしいと考えます。この連鎖は地域だけでなく山梨県全体に日本全国に世界にと波及していくはずで

す。ワイズメンの皆様にもご理解いただき、まずは、いじめ件数68万件・不登校児童人数29万人の減少を目指すために、来年度は協働で平和の声を届ける人として加わっていただきたいと希望いたします。

